



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月12日

上場会社名 I Tホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3626 URL <http://www.itholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 晋 (TEL) 03 (6738) 7557
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 前西 規夫 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	69,007	4.8	△2,142	—	△1,848	—	△2,817	—
22年3月期第1四半期	65,855	△1.6	851	—	981	—	1,101	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△32.10	—
22年3月期第1四半期	12.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	298,615	149,318	45.1	1,535.02
22年3月期	313,077	155,075	44.2	1,602.77

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 134,737百万円 22年3月期 138,401百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期（予想）	—	12.00	—	20.00	32.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	165,000	12.3	4,800	△17.3	4,800	△17.1	800	△75.1	9.11
通期	346,000	10.2	16,500	3.2	16,000	1.8	5,500	△28.2	62.66

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3 「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー 社 (社名) 除外 ー 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	87,789,098株	22年3月期	86,373,919株
23年3月期1Q	13,728株	22年3月期	22,813株
23年3月期1Q	87,765,572株	22年3月期1Q	85,076,683株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、[添付資料] P. 2 「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（2）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、輸出や生産の持ち直しなどにより景気回復の期待が感じられるようになり、情報サービス産業については、日銀短観におけるソフトウェア投資額の当年度計画が前年度を上回るなど、一部顧客のIT投資に対する姿勢に変化の兆しが見られ始めました。しかし、一方では新規システム構築の抑制や保守・運用コストの削減要請が続くなど、依然として厳しい状況にあります。

当社グループの第1四半期連結会計期間の業績は、平成21年12月に子会社化したソラン株式会社の業績が反映され、売上高は69,007百万円(前年同期比4.8%増)となりました。しかし、利益面では、前期から引き続き顧客のIT投資抑制による減益圧力のほか、厳しい事業環境に適応するための経営体質改善が途上にあることもあり、営業損失2,142百万円(前年同期は営業利益851百万円)、経常損失1,848百万円(前年同期は経常利益981百万円)、四半期純損失2,817百万円(前年同期は四半期純利益1,101百万円)となりました。また、当第1四半期連結会計期間において、資産除去債務に係る特別損失2,199百万円を計上いたしました。

なお、分野別の売上高は次のとおりです。

①アウトソーシング・ネットワーク分野

当第1四半期連結会計期間の売上高は、ソラン株式会社の業績の連結反映がその他の減少分をカバーしたことから、31,127百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

②ソフトウェア開発分野

当第1四半期連結会計期間の売上高は、ソラン株式会社の業績の連結反映が牽引役となったことから、31,060百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

③ソリューション分野

当第1四半期連結会計期間の売上高は、顧客のハードウェア需要の減退が続いたことなどから、4,818百万円(前年同期比16.9%減)となりました。

④その他の分野

当第1四半期連結会計期間の売上高は、2,001百万円(前年同期比13.7%増)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

景気の先行き不透明感などから、全産業にわたる顧客のIT投資の本格的な再開にはまだ時間を要する見込みであり、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が続くと考えられます。

このような中、当社グループでは、グループ各社の連携による共同受注活動の推進など、グループシナジーを活かした事業展開により顧客のIT投資需要に対する的確な対応に注力するとともに、継続的なコスト構造の見直しなどを推進し、期初計画の達成を目指してまいります。そのため、平成22年5月11日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法を採用しております。

棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

一部の連結子会社は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失は、それぞれ57百万円、税金等調整前四半期純損失は、2,257百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2,554百万円であります。

企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,356	47,192
受取手形及び売掛金	38,550	62,619
リース債権及びリース投資資産	7,491	7,590
有価証券	221	321
商品及び製品	2,424	1,914
仕掛品	12,016	7,121
原材料及び貯蔵品	230	227
繰延税金資産	10,010	8,527
その他	8,911	6,649
貸倒引当金	△167	△197
流動資産合計	129,045	141,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,741	52,331
機械装置及び運搬具(純額)	4,565	4,851
土地	22,564	22,630
リース資産(純額)	2,422	2,476
建設仮勘定	3,044	4,106
その他(純額)	5,458	5,602
有形固定資産合計	91,795	91,999
無形固定資産		
のれん	6,738	6,741
その他	12,488	12,388
無形固定資産合計	19,226	19,130
投資その他の資産		
投資有価証券	32,810	34,593
繰延税金資産	8,236	6,994
その他	20,254	21,171
貸倒引当金	△2,754	△2,779
投資その他の資産合計	58,547	59,980
固定資産合計	169,569	171,109
資産合計	298,615	313,077

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,211	14,953
短期借入金	27,613	34,895
1年内償還予定の社債	—	4,000
未払法人税等	1,173	2,114
賞与引当金	5,204	10,820
その他の引当金	325	374
その他	26,879	19,097
流動負債合計	71,409	86,255
固定負債		
社債	7,600	7,600
長期借入金	48,781	45,151
リース債務	3,784	3,914
退職給付引当金	10,900	10,672
役員退職慰労引当金	443	470
繰延税金負債	653	694
再評価に係る繰延税金負債	993	993
その他	4,732	2,250
固定負債合計	77,888	71,746
負債合計	149,297	158,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,001	10,001
資本剰余金	86,788	85,207
利益剰余金	39,549	44,088
自己株式	△23	△57
株主資本合計	136,315	139,239
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	429	1,182
土地再評価差額金	△1,841	△1,841
為替換算調整勘定	△165	△178
評価・換算差額等合計	△1,577	△837
新株予約権	18	18
少数株主持分	14,561	16,654
純資産合計	149,318	155,075
負債純資産合計	298,615	313,077

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	65,855	69,007
売上原価	54,526	58,868
売上総利益	11,329	10,138
販売費及び一般管理費	10,478	12,281
営業利益又は営業損失(△)	851	△2,142
営業外収益		
受取利息	19	9
受取配当金	367	435
負ののれん償却額	22	21
その他	133	227
営業外収益合計	543	694
営業外費用		
支払利息	262	268
持分法による投資損失	57	69
その他	92	62
営業外費用合計	412	400
経常利益又は経常損失(△)	981	△1,848
特別利益		
投資有価証券売却益	20	119
貸倒引当金戻入額	48	43
その他	0	13
特別利益合計	69	176
特別損失		
固定資産除却損	29	—
投資有価証券評価損	12	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,199
その他	6	288
特別損失合計	48	2,487
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,002	△4,159
法人税、住民税及び事業税	260	1,083
法人税等調整額	△422	△2,091
法人税等合計	△161	△1,008
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△3,151
少数株主利益又は少数株主損失(△)	62	△334
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,101	△2,817

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(参考)

平成23年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

【ITホールディングス連結】

1.サービス分野別売上高

(単位：百万円)

	平成23年3月期			
	第1四半期 [A]	上期	通期 [B]	進捗率 [A/B]
売上高	69,007	165,000	346,000	19.9%
アウトソーシング ネットワーク	31,127 45.1%	64,500 39.1%	131,000 37.9%	23.8%
ソフトウェア開発	31,060 45.0%	84,500 51.2%	179,500 51.8%	17.3%
ソリューション	4,818 7.0%	13,000 7.9%	29,000 8.4%	16.6%
その他	2,001 2.9%	3,000 1.8%	6,500 1.9%	30.8%
		[計画]	[計画]	

(単位：百万円)

	平成22年3月期			
	第1四半期 [A]	上期	通期 [B]	進捗率 [A/B]
売上高	65,855	146,954	313,856	21.0%
アウトソーシング ネットワーク	30,870 46.9%	61,623 41.9%	126,164 40.2%	24.5%
ソフトウェア開発	27,425 41.6%	70,308 47.9%	155,976 49.7%	17.6%
ソリューション	5,798 8.8%	11,798 8.0%	25,021 8.0%	23.2%
その他	1,760 2.7%	3,224 2.2%	6,693 2.1%	26.3%

※ 平成21年12月に子会社化したソラン(連結)の影響額は以下のとおりです。

平成23年3月期第1四半期 売上高:9,194百万円

(うち、アウトソーシング・ネットワーク 2,207百万円、ソフトウェア開発 6,373百万円、ソリューション 531百万円、その他 82百万円)

平成23年3月期上期[計画] 売上高:21,730百万円

(うち、アウトソーシング・ネットワーク 4,690百万円、ソフトウェア開発 15,600百万円、ソリューション 1,190百万円、その他 250百万円)

平成23年3月期通期[計画] 売上高:46,900百万円

(うち、アウトソーシング・ネットワーク 10,690百万円、ソフトウェア開発 32,860百万円、ソリューション 2,830百万円、その他 520百万円)

平成22年3月期通期(第4四半期のみ) 売上高:14,034百万円

(うち、アウトソーシング・ネットワーク 3,093百万円、ソフトウェア開発 9,941百万円、ソリューション 917百万円、その他 81百万円)

※ 上記計画数値等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.受注高及び受注残高(ソフトウェア開発)

(単位：百万円)

	平成23年3月期	
	第1四半期	
受注高	38,519	
期末受注残高	57,028	

(単位：百万円)

	平成22年3月期		
	第1四半期	第2四半期	通期
受注高	38,125	69,808	146,621
期末受注残高	63,508	52,308	49,569

※ アウトソーシング・ネットワークサービスは継続業務でありますので、記載しておりません。

※ 平成21年12月に子会社化したソラン(連結)の影響額は以下のとおりです。

平成23年3月期第1四半期 受注高:9,547百万円、期末受注残高:7,012百万円

平成22年3月期通期(第4四半期のみ) 受注高:7,665百万円、期末受注残高:3,839百万円